

北木島の石材歴史発信

笠岡市の北木島に受け継がれている石材業の歴史を紹介した展示施設が完成し、29日に関係者へ披露された。同市の石材加工会社の鳴本石材が整備。カフェを併設し、観光用の自転車も貸し出す。

(谷本和久)



北木島の石材の歴史を紹介した展示施設「K's LABO」

大阪城など利用例紹介

施設は、北木島の頭文字を取って「K's LABO(ケーズラボ)」と命名。同島豊浦港から歩いて約1分の海沿いで、敷地約3千平方メートルある空き倉庫を改修。鉄骨平屋約2千平方メートル、石の資料館やカフェなどを整備した。

資料館では、パネル写真や説明プレートの約60点を展示。同島の産の花こう岩を使ったとされる大阪城の石垣や旧日本銀行本店、採石技術を学ぶ養

成所の授業風景、掘り出すための発破作業などを写真で紹介している。カフェは近くオープン。島内を観光する自転車も貸し出す。総事業費約1億円。

市によると、同島の採石場は約60年前の127カ所が今は2カ所に、加工業者も約20年前の約60社が約10社に減った。同社の鳴本哲矢会長(66)は「島の暮らしを一時期支えた石材業を広く知ってほしい。観光施設としても島の活性化につながるれば」と期待した。

開館は火、木、土、日、祝日の午前10時～午後4時。中学生以上600円、小学生300円、幼児無料。同社 ☎0865(66)1414。